

ゆうメール

料金後納
郵便

やまもり通信

NO. 242 2023.3 認定NPO法人恵那山みどりの会



第17回市民門松づくり 12/24 於:本町公園

4/29(土) 竹林整備とタケノコ掘り (於)千旦林竹林

年度末になりました。会費未納の方早急に納入をお願いします

ホームページ

恵那山みどりの会

検索



「イムジン河」という歌をご存じだろうか？おそらく当会の会員なら同世代なので歌ったこともあるでしょう。

朝鮮半島を南北に分断するイムジン河を渡る鳥に、なぜ南の故郷へ帰れないか、誰が祖国を分断したかを鳥に問いかけ、故郷への想いを募らせる内容です。

この歌の綺麗で、感傷的なメロディーは、長い間、朝鮮半島でも忘れられていた歌でしたが、たまたま京都の朝鮮学校に所用で来ていた松山猛氏が耳にし、これに日本語歌詞をつけて、ラジオでフォーク・クルセーダーズが歌い、徐々に広がって行ったのでした。

一旦はレコード販売中止となりましたが、その後、キムヨンジャが北朝鮮で歌い、また、招かれた京都交響楽団が演奏し、朝鮮半島でも

復活した曲です。

時は1960年後半で、ベトナム戦争など世界で紛争が起こり、第2次世界大戦後の反戦機運のうねりが起こっていた時で、若者に共感を得たのです。

当時は「反帝」「反米」というイデオロギーの問題でしたが、今や世界に広がる「覇権主義」「経済格差」「宗教・民族」「先進国と途上国問題」など、かつてよりさらに複雑な問題が「分断」を生んでいます。

当時の「分断」は今や世界の地政学上の問題となっています。もう1年になるロシアとウクライナ間の戦争では多くの人命が双方に失われ、いまだに先が見えない状況です。

この戦争により、エネルギー、食糧が武器として利用されるとは思いもよらないことでした。資源が大きな領土を要するロシア、中国に存在し、そこに依存しなければ成り立たないというサプライチェーンの脆弱性も露わになりました。

また一方で、戦争は最大の環境

汚染といわれています。爆撃による住宅、インフラ施設の破壊により、有害物質などが空気や河川を汚染するだけでなく、戦闘機や戦車は多くの燃料を消費し、大量のCO₂を排出します。現在のウクライナ・ロシアの戦争では既に3100万トンのCO₂が輩出され、これはニュージーランド一国が1年間に排出する量に匹敵すると言われています。長期化するとさらに増加する懸念があります。

この戦争により、気候変動対策として、世界が取り組んできたCO₂削減の努力が大きく後退する危機に直面しています。この戦争によるエネルギー不足を火力発電所や、原発再稼働などにより補完する政策が各国で検討されています。地球温暖化を阻止する長年の動きはたった1年でその動きを後退させていきました。

我々の地球はその崩壊を待たず、くれるのでしょうか？

森づくりだより

早川宏之

今回も多くの作業が続いた。

千旦林辻原 栗外広葉樹伐採作業

令和4年12/6 火曜日 三名

田んぼ法面の草刈り、竹林整備等いろいろ作業依頼をいただいている小池さんから、近くの雑木林内にある栗の木外三本の伐採依頼を受けた。

猪が栗を食べに来て近くを徘徊するので、恐ろしいという申し出を受けてのことである。

二十数センチの栗とそれより細かいクヌギが二本、計三本の伐倒である。周囲には竹が繁茂しており、まずその竹の伐採から始め栗等の伐採環境を整えた。

一服後、栗から順番に三本の伐倒を終えたが、毎度のこと、伐倒後の枝払い、集積整理に手間がとられる。特に広葉樹は幹と枝が判別できなく、またその先々で枝分か

れをしており、全く手間がかかり難儀なものである。

千旦林小林家 柴刈り・広葉樹伐採作業

12/7 水曜日 三名

小林家入口通路の、向かって右側の山林にある広葉樹伐採と柴刈りである。太さも十センチ前後と手ごろではあったが、通路側にはドウダンツツシ等があり、多少は気を使っただけの伐倒となった。伐倒後の枝払い集積には面倒な面がありやはり手間取った。

駒場桃井建設造成地 孟宗竹伐採作業並びに山岸家 桜枝吊切り作業

12/8 木曜日 五名

道路を挟んだ商業高校の向かい側で、桃井建設が宅地造成をするため、敷地内の孟宗竹及び広葉樹の伐採・チップ処理の依頼があった。

また隣接地から桜の枝四本の切

落としの依頼があった。

桜の枝の下には低木があり、そのまま切り落とすと後処理がとても大変なこととなりそうなので吊切りとした。その準備の間、桃井建設造成地の孟宗地木伐採を並行して行った。

桜の枝吊切り準備完了後、地上作業をお願いし、枝の吊切りを行ったが、準備作業に手間取りこの日は二本しかできなかった。孟宗竹の伐採は順調に行われ、更地となった造成地の一部に山と積まれていた。

桃井建設造成地孟宗竹伐採作業の続き及び道路、配電柱際の柴刈りを実施。

12/9 三名

孟宗竹林内は密集しており、また、枯れた竹がそこかしこに倒れていたり、生えている低木の枝が絡んだりして実に作業がやりにくいが、半分ほどは伐採できた。

12/16 金曜日 三名

先ずは山岸家桜の残りの枝二本の吊切りであったが、一本別の枝に変更を依頼され何とか無事に終了した。

前回と同様吊切りの準備の間、桃井建設造成地の孟宗竹伐採を並行して行った。おかげで、孟宗竹は六割ほど伐採できたが、チップパー機をどこで使うか悩ましい状況となった。

西が丘青木家 庭木剪定作業

12/15 木曜日 四名

裏庭のシンボルツリーのな楠の枝払いと道路に面した庭木数本の剪定作業である。

楠は以前にも芯止枝払いをしてあり、今回もその付近での枝払いを依頼された。

幹の高さは二メートル一寸であるが、枝はその周囲から伸びており、高いものでは四メートルほどはあったか。それらをことごとく切り落として丸裸状態とした。

り、まずは竹竿からチップパー処理をはじめ、順次枝葉も処理していった。

竹や低木が混ざり合っていてかなり広範囲に集積されているため、枝葉のついていない竿を人海戦術で集めながら、チップパー機を移動し処理していった。

十六日の午前中は山がなかなか減らないと思ったが、十五時ごろには残りが三分の一ほどになっていた。とはいえ、伐採は完了しておらず、並行して一名が伐採したが、まだ一割ほどは残っている。

翌十七日は、集積を先に行い午前中はチップパー処理、午後から残りの竹を伐採したが、二、三十本ほどを残し終了した。

十八日は、前日に伐採集積したチップパー処理と、残りの竹伐採集積を並行して行った。天候にも恵まれ順調に伐採も進み、十四時ごろには、チップパー処理を完了できた。

翌十九日はチップパー処理の搬出

地上で切り落としした枝を適当な長さに切り、別に剪定した枝とともに地元のどんどの材料として、軽トラ三杯ほど運んだ。

その後、雑木林までみんなで行き復運び終了した。

狩宿柴刈り、櫓伐採作業

令和5年1/11・13 各六名

狩宿の伐採作業に入って最初の柴刈りをしてから三年目。

今回の伐倒木は全て上部にあるため、集積するための通路を午前中かけて確保。午後集積のための場所を切り開き1日目終了。

狩宿での久しぶりの櫓の伐採。一番端の櫓から取り掛かる。滑車、チルホールを使い、午前中に三本、午後二本の伐採を行い、今季最初の櫓伐倒作業を終えた。

1/24 四名(定例作業)

天気が心配されたが、まずまずの天候に恵まれ、一日作業ができた。



のみを行い、休養日となった。

二十日、いよいよ大径木のアベマキの伐採である。敷地の上空を配電柱

の支線が通過しており、そのまま倒すと枝が一部かかりそうなため、引き起こす感じでチルホールの位置を決め、念のため枝も落とすこととした。

三メートルほどのところで二股に分かれている幹二本にロープを取り付け、チルホール二台で連絡を取り合い想定した位置へ伐倒した。

★会員の皆様、一緒に作業しませんか!

恵那山みどりの会では、しいたけの原木・炭・薪用の材料調達のため、各地の雑木林で櫓等の木を

まず支障となりそうな枯松を伐倒、しかし桜や櫓の木にかり木となり、処理に手間取った。その間、地際で分かれていながら二本寄り添っている、櫓の伐倒準備を行う。支障となる斜面下部へ傾斜している櫓を追いづる切で伐倒し、その後二本寄り添っている櫓を慎重に伐倒した。

午後、気温が下がり風も出てきて少し冷え込んできたが、枝が上部で絡んでいる細いほうの櫓の枝を切り落とし、無事に伐倒してこの日の作業を終了した。

駒場桃井建設造成地 孟宗竹伐採及びチップパー処理並びにアベマキ伐倒

1/16〜20 延べ二十一名

朝チップパーを運び込み、山と積まれた伐採竹の間へ何とか設置した。新年早々バッテリーを取り換えたとおかげで、エンジンは快調に始動し稼働してくれた。

未明の雨で枝葉がよく濡れてお

伐採させていたいております。そこで、一丁作業を手伝ってやろうという方がおられましたら、大歓迎です。

ただし、会の事業(受託作業)でチェンソーを使用する場合は、労働安全衛生法に規定されている安全または衛生のための特別の教育を三日間(二日座学、一日実技)受講しなければなりません。したがって、受講料(令和四年度二万三千八百七十円)の半額を会で補助しております。ご希望の方は事務所までメール・FAXで連絡ください。対応させていただきます。

会の作業は、主に平日に実施しております。そのほか、第二、第四日曜日、第三月曜日になすの森で活動しております。こちらは、「ヤマガキ隊」と称し、大人の遊び場づくりを自由参加で楽しんでおります。これから春の芽吹き季節を迎えます。一度お訪ねください。

【定例作業日誌】

森林資源活用部 伊藤 守

十二月十一〜十五日

炭焼き

十二月十三日 (火) 曇り 五人

雑木林窯での屋根補強

一月十日 (火) 晴れ 二十四人

雑木林窯窯開き

一月二十四日 (火) 曇り 四人

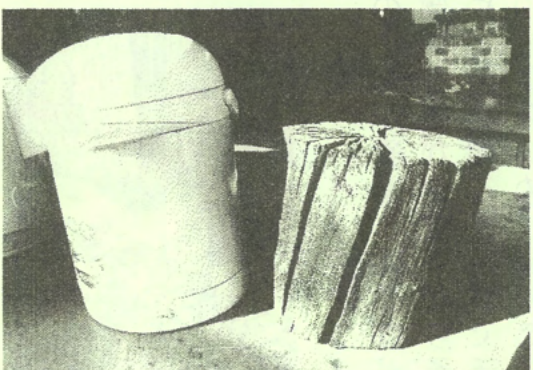
狩宿で薪材・椎茸原木の採取

二月十四日 (火) 晴れ 六人

狩宿で薪材・椎茸原木の採取

十二月〜一月 薪の配達五軒

窯開き。この言葉で連想するのは、陶器の窯開きや茶の「初釜」。初釜は新しい年を迎え、一番初めの稽古のこと。お茶を振舞う以外に懐石料理やお菓子を食べるなど、いつものお茶会よりは少し豪華に行われます。当会の窯開きは長年行われて来ませんでした。せっかく炭焼きを再開したので窯開きを来年こそと十二月に炭焼きを行い、準備してきました。



炭だし・昼食の準備をして頂きました。炭材は先回の残りを利用したため細かい物が多かったが約100kg余りの炭が出来ました。遊び心で

どの様に行われるのだろう。先輩に尋ねると、何もしないよとのこと。仕事始めのことです。どんなものにも新しい年に最初に始める日は、特別な意味があります。

当日は、小さなお猪口に濁り酒を注ぎ、今年も作業の安全、良い炭が出るよう乾杯しました。お昼は、何もしない話でしたが、懐石料理ではなく初仕事にふさわしい赤飯のおにぎりと豚汁が振る舞われました。窯開きという事で四人のお客様も見え、

直径30cm余りの輪切り丸太をふたつ窯の中に入れましたが一つだけ大きな炭が出来ました(写真)。これからも材質や形にこだわらず変化のある炭にも挑戦してみたい。

赤い実・青い実

秋から冬にかけて赤い実を付ける植物が目につきます。ウメモドキ・ガマズミ・サンシユユ、小さな物でヤブコウジ。縁起が良いと正月に飾られるセンリョウ・マンリョウ・ナンテン。これら赤い実は鳥たちの好物とされています。我が家でもサンシユユにはヒヨドリが良く来ていますがナンテンやマンリョウは遅くまで実が残っています。きつとまずいのだろう。

青い実のなるリュウノヒゲにはヒレンシヤクが食べに来ます。我が家の庭にも二月下旬から十数羽飛来します。去年はコロナ禍の影響か飛来しませんでした。今年は来てほしいと上空を見、電線に止まっている鳥を観察しています。ああススメか。

イベント

市民門松づくり大会開催12/24(土)

一般17組34名 スタッフ16名

於：本町公園



しそうちに作品作りをしていきました。子どもたちは伐れ残った竹と材料の南天、マツなど

今回で17回目の門松づくりは前日の雪の残る中、晴天の下、開催されました。まだコロナ禍でもあり、今年もせんざいなどの提供は出来なかった。子どもも女性も竹を切るのに一苦労です。それでも参加者は力を合わせ楽



を組み合わせて、小さな門松を作って楽しんでました。

中津川中央公民館講座「冬休み・門松をつくろう」支援 当会3名参加



昨年引き続き、公民館講座の支援をすることにしました。12/27に市民3組8名、公民館から2名の参加がありました。親子で協力しながら、に

ぎやかな雰囲気です。門松を作りました。「上手にできました」と作った門松を大事そうに持って帰りました。

どんど開催 1/7(土) 一般30名スタッフ10名

於：中津川河川敷

年末の門松づくりを受けて、ことしも「どんど」を開催しました。

今回はコロナもまだ終息していないせいか、今年も参加者は少なかったが、参加する家族はいつものようにいろいろな食材を持ち寄り、新年を寿ぎました。どんど



は今年の恵方の南南東を少しずれましたが、まずまずの方向へ倒れ、今年が良い年になりそうです。

2023年 3月・活動/打合せ予定

| 日 | 曜日 | 時間 | 活動内容 | 会場 | 対象 | 備考 |
|-----|----|-------|-------|------|-------|----|
| 5日 | 日 | 13:30 | 拡大役員会 | 事務所 | 担当・役員 | |
| 12日 | 日 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 14日 | 火 | 9:00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 20日 | 月 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 26日 | 日 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 28日 | 火 | 9:00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 29日 | 水 | 13:30 | 企画会議 | 事務所 | 担当・役員 | |
| 日 | | | | | | |
| 日 | | | | | | |
| 日 | | | | | | |
| 日 | | | | | | |
| 日 | | | | | | |

4月 イベントと森の学校の予告

| | 行事内容 | 会場 | 備考 |
|--------|---------------|-----------|----|
| 29日(土) | 竹林整備とタケノコ掘り大会 | 千旦林(辻原)竹林 | |
| 日 | | | |
| 日 | | | |
| 日 | | | |

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある
 ご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に掲載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 河内 龍二
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp

～^{ねが}希望をともに～

恵那山みどりの会は
 緑豊かな里山づくりをめざし
 木の価値をその 利用として
 炭焼や しいたけの原木をつくり出す
 種拾いや 植樹をします

未来を担う子どもたちのために
 森の学校は「ほのぼ」を開きます
 自然をとりもどしたいという人々の願いは
 強まっています

経済優先の社会と別水
 自然とともに生きる 豊かさを
 求められているのです

恵那山みどりの会は
 そういふ人と共に
 生きたいと 考えています

2023年 4 月・活動/打合せ予定

| 日 | 曜日 | 時間 | 活動内容 | 会場 | 対象 | 備考 |
|-----|----|-------|---------------|---------|-------|----|
| 2日 | 日 | 13:30 | 拡大役員会 | 事務所 | 担当・役員 | |
| 9日 | 日 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 11日 | 火 | 9:00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 17日 | 月 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 23日 | 日 | 13:30 | やまもり通信編集会議 | 事務所 | 担当役員 | |
| 23日 | 日 | 9:00 | ヤマガキ隊 | なすの森 | 会員・一般 | |
| 25日 | 火 | 9:00 | 定例作業日 | 雑木林窯 | 会員・一般 | |
| 26日 | 水 | 13:30 | 通信発行・企画会議 | 事務所 | 担当役員 | |
| 29日 | 土 | 10:00 | 竹林整備とタケノコ掘り大会 | 千旦林辻原竹林 | 会員・一般 | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| 日 | | : | | | | |
| | | | | | | |

5 月 イベントと森の学校の予告

| | 行事内容 | 会場 | 備考 |
|---|------|----|----|
| 日 | | | |
| 日 | | | |
| 日 | | | |
| 日 | | | |

編集部連絡:原稿締切は毎月20日です。
 また、手書き原稿は「河内」までFAX等で提出してください。
 森林、資源、地域の問題などで当会の活動に関連ある
 ご意見などをお寄せください。
 関係の深い記事など通信に記載します。
 イラストなどもお寄せください。

発行責任者:NPO法人恵那山みどりの会
 理事長 柴田 弘明
 事務所 〒508-0042中津川市西宮町2-13
 (TEL・FAX 0573-65-1366)
 13:00~16:00(水・土・日・祭日休み)
 メールアドレス:midorinokai@wine.ocn.ne.jp